

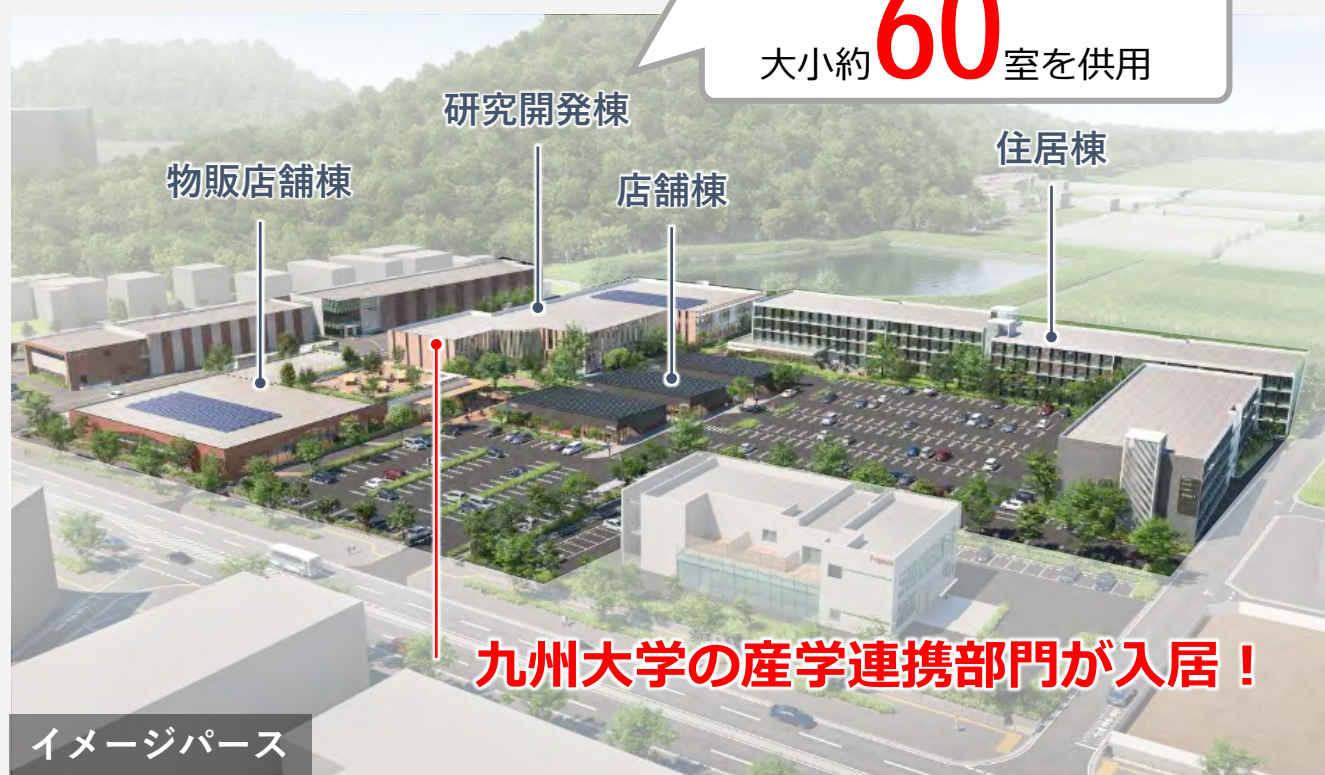
# 九大新町研究開発次世代拠点形成事業

R5年3月開業予定!

九州大学と連携した『研究開発次世代拠点』の形成

研究開発 × 交流 × 生活利便 × 居住

レンタルラボ・オフィス  
大小約 **60** 室を供用



## mirai@ (ミライアット)

社会課題解決のために、AI・IoTを含めた民間のノウハウを活用し、公民連携をさらに推進することを目的として、民間提案の実現を**ワンストップ**で**サポート**。  
公民連携のハブとして、福岡市の未来をつくるチャレンジを全国から募集。



# 実証実験フルサポート事業

AIやIoT等の先端技術を活用した**社会課題の解決**や  
**生活の質の向上**に繋がる実証実験プロジェクトを全面的にサポート

## 福岡市 実証実験 フルサポート事業

実証フィールド提供      広報支援      行政データ提供      規制緩和検討



<令和3年度>  
■ 採択件数 **12**件

# 福岡市トライアル優良商品認定事業



地場中小企業が販売又は提供する優れた新商品・新サービスを福岡市が認定し，PR等を通じて販路開拓を支援する。

クラウドサービス

写真からAIがCAD化！

オングリット株式会社

KEYes  
ロックシステム

KEYes株式会社

SINORAY

Tシリーズ  
AI自動体温検知カメラ

HMS株式会社

## ■庁内購入実績（累計）

**6社、12件 39,546千円**

# スタートアップ都市推進協議会

スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体が、地域の個性を生かしたロールモデルとなり、経済関係団体とも連携し、**日本全体をチャレンジが評価される国に変えていく**ことをめざして、平成25年12月に設立。

【メンバー】（※R4.4.1現在）

福岡市（会長）、広島県（副会長）、浜松市（副会長）、  
青森市（監査役）、つくば市、千葉市、別府市、熊本市

計 1 県 7 市

選ばれし強者が勢揃い

JAPAN ● STARTUP SELECTION  
*the 8th Edition*

2022.2.1<sup>PM</sup> - 2.2<sup>PM</sup> オンライン開催

参加申込はこちらから ▶



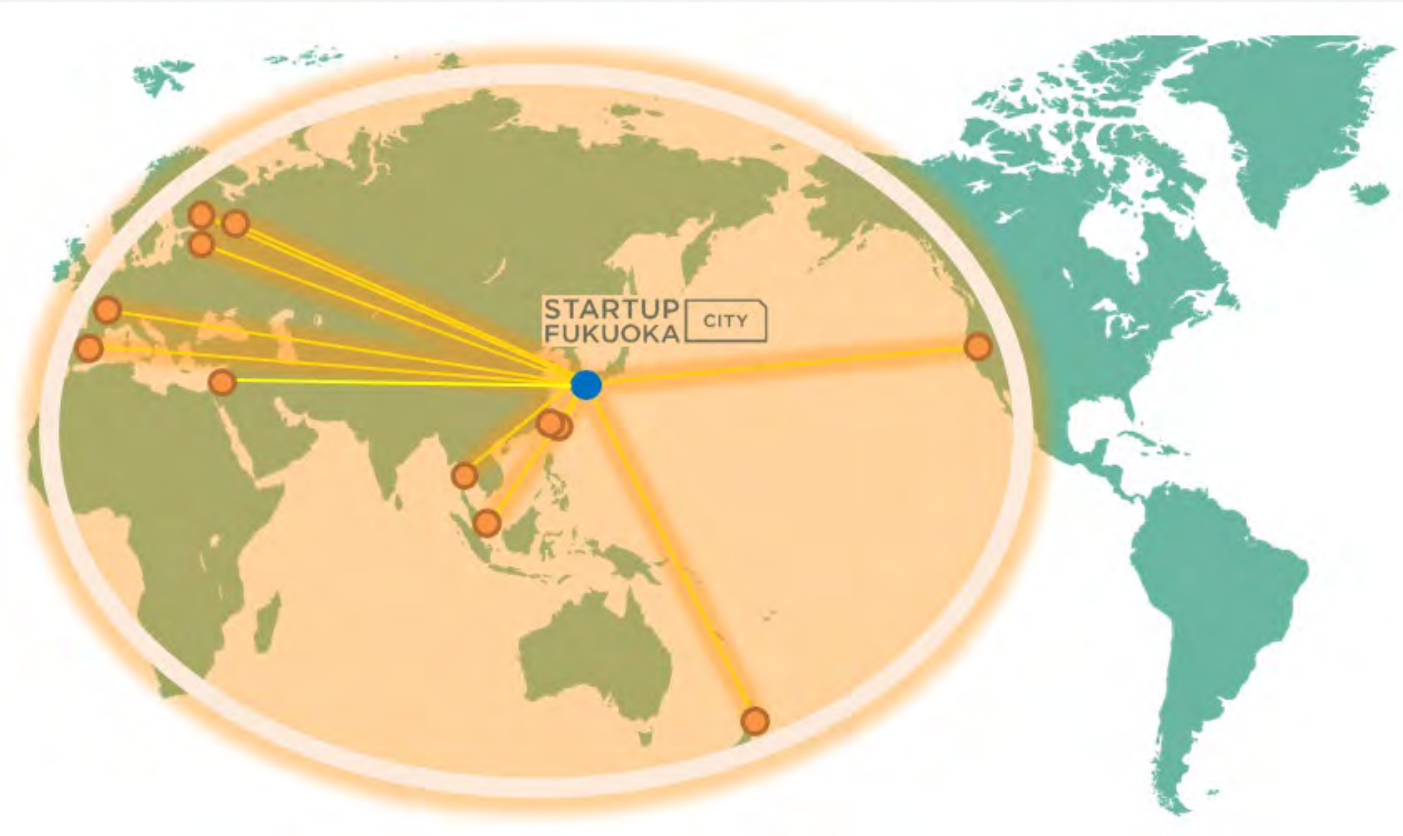
## <JAPAN STARTUP SELECTIONの開催>

スタートアップ企業と、首都圏を中心とした大企業、投資家、起業家等とのマッチングを促進するため、「JAPAN STARTUP SELECTION - the 8th Edition-」を **完全オンライン** で実施した。

■ 商談件数 **76**件    ■ 出展企業 **23**件    ■ 参加者 **556**名

※ログインベース

# 世界のスタートアップ先進都市との連携



**11** か国・地域

**15** 拠点と連携

## <連携による主な提供サービス>

①現地に関する情報提供、  
起業相談、企業紹介

②現地で開催されるセミナー、  
相談会へのオンラインでの参加

③福岡市内のスタートアップ企業  
の製品やサービスを現地で展示

# ASCENSION / 国内外スタートアップイベントへの参加

## ASCENSION

国際ビジネスマッチングイベント「ASCENSION」を開催。  
高島市長とサンフランシスコ発のデカコーン企業「Notion」  
COOとの対談や、連携先のスタートアップを対象としたビジネス  
マッチングを実施し、「グローバル拠点都市福岡」を国内外に向  
けてPR。



高島市長×Notion Labs. COO対談の様子

## 国内外スタートアップイベントへの参加

国内有数のスタートアップイベント「B DASH CAMP」と連携。  
福岡市ブースの出展や、福岡市スタートアップを対象とした独自の  
ピッチコンテストを開催するなど、スタートアップと有力VC等との  
マッチング機会を創出。



ピッチに登壇した福岡市スタートアップ

# グローバルスタートアップセンター（GSC） / スタートアップビザ

## GSC

福岡市スタートアップの海外展開や、海外スタートアップの福岡進出について、経験豊富な相談員が無料で相談対応をおこなう。

R3年度相談件数 **6,599**件  
前年度比：約1.3倍！



## スタートアップビザ

**福岡市提案！**

国家戦略特区における在留資格（経営・管理）申請時の要件の規制緩和及び経済産業省認定のスタートアップビザを活用し、外国人の起業を促進。

累計申請件数 **105**件 (R3年度：9件)  
政令市中累計件数 1位！

### <事例>

【SMARTI株式会社】

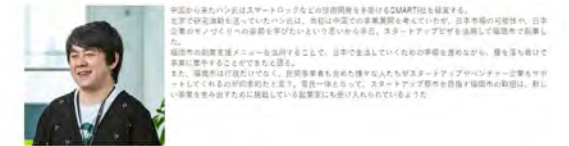
代表者：ハン シュオ

出身地：中国

内容：音声技術や人工知能を活用して、スマートロックやスマートランプ等の製品開発。

### <内閣府国家戦略特区HPに掲載>

実際にFukuoka Growth Nextに入居されている中国人の起業家の方にお話をうかがった際にも、6ヶ月の準備期間があったことで、事業パートナーとなる日本企業とのやりとりがしっかりと行われておっしゃっていました。日本で起業したいと思って来日しても、実際に生活していると母国の習慣との違いに戸惑ったり、制度の複雑さもあったりして、起業家一人で乗り切るには大変なことも多いのではないかとおっしゃいます。こうした制度があることで、起業するための基盤を整えられるということは大事ですね。



一清見氏  
スタートアップビザの活用については、申請件数ではなく、福岡に来てビジネスを成長させていくようなロールモデルを一つでも多く生み出していくことを目指しています。外国人が福岡で起業し成長していく中で、何が一番効果的なのか。民間事業者の方の意見も聞きながら、成長を支援するためのプロセスに落とし込むところが、取組の準備をするときに一番頭を使ったと思います。ですので、実際にビザを活用された外国人起業家の方にそのように伺っていただければ幸いです。